

藤田さんの作品を展示

厚木の風景画などを展示します。

期間：8月12日まで

場所：あつぎ市民交流プラザ

固広報戦略課 ☎225-2040



編集・発行／厚木市政策部広報戦略課  
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17  
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951  
ホームページは



キャンバスに向かう藤田さん。描いた作品は千を超える

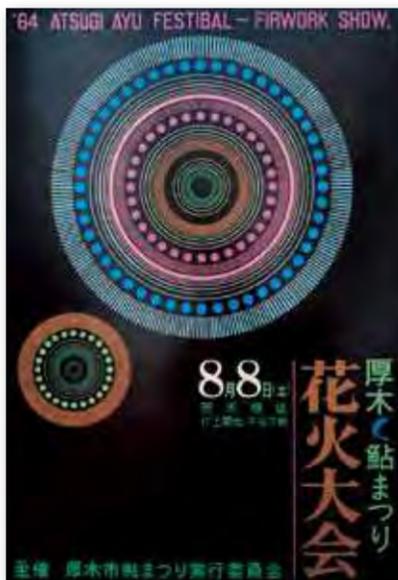
## ふるさとを描く

画家 藤田 不美夫さん

悠然と流れる相模川や野山の向こうに望む大山、四季折々の厚木の姿。柔らかい筆遣いと優しい色合いの風景画に囲まれ、キャンバスと向き合うのは、藤田不美夫さん（83・妻田東）。「厚木を描いて50年。ここは僕にとってふるさとだよ」。そうほほ笑む藤田さんは、緑豊かな厚木に生まれ込み都内から移り住んで以来、自宅のアトリエで創作活動を続けている。

かつては「あつぎ鮎まつり」のポスター制作にも携わるなど、厚木に腰を据え画家としての人生を歩んできた藤田さん。ある時は自転車で、ある時は愛犬をお供にまちを散歩し、気に入った山や河原、並木などを描いてきた。「目に映ったままの自然をただ描くのではなく、自然から心を揺り動かされ、受けた感動を絵として表現している」と作品へのこだわりを語る。

藤田さんは、木版画や油絵、デッサンなど、さまざまな手法で描いてきた。80歳を過ぎて、別の技法を学び新しい版画の制作に意欲を見せられている。「ここは自然に恵まれ、描く題材に事欠かない。生涯現役で描き続けたい」。移り行く時代の中でも、変わらぬふるさとの自然を見つめ、キャンバスに向かい続ける。



第18回あつぎ鮎まつり(昭和39年)のポスター。移り住んで間もなく市からの依頼を受けて手掛けた作品。このポスターをきっかけに多くの注文が来るようになり、厚木での生活の基盤となった思い出深い作品。

目次	2面 部長職が政策目標を宣言	3面 安全で快適な道路に	4・5面 思いつながら鮎まつり	6・7面 タウンガイド
	政策課題の解決と施策の着実な推進に向けて、市の部長職30人が自らチャレンジ目標を宣言しました。	暮らしに欠かせない道路をいつでも快適に利用するために、ルールやマナーを守りましょう。	開催70回を迎える「あつぎ鮎まつり」のこれまでの歩みを、関係者の思いとともに振り返ります。	催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

こちらから

情報公開

トピック

課題解決に向けた道筋を明確化

部長職が政策目標を宣言

市では毎年、部長職が市長・教育長に政策目標を宣言する「部長のチャレンジ宣言」を実施しています。それぞれの部署が抱える課題を洗い出し、意気込みや課題の解決方法などを宣言することで、目標達成に向けた道筋を明確にしています。

「部長のチャレンジ宣言（以下、宣言）」は、部長の責任の明確化と経営能力の向上を目的に平成19年度に始まり、こととして10回目を迎えました。各部長が取り組む目標を明らかにすることで、速やかな施策の実現や行政課題の解決につなげていきます。

市の重点政策を目標に掲げる

ことしは、部長職30人が78の目標を宣言しました。中心は今年度の重点政策である「都市基盤整備」「地域包括ケ

宣言と達成状況を公開

こうした市の取り組みをより身近に

「ア社会の実現」「地方創生」です。都市基盤整備では、本厚木駅南口の再開発や厚木パークキングエリアスマートインターチェンジの整備などを宣言。地域包括ケア社会の実現に向けては、介護予防・日常生活支援のモデル事業などの実施を目標とし、定住促進を目指す

地方創生の取り組みでは、事業の業績評価指標の達成などが掲げられました。

感じてもらうため、宣言をまとめたリーフレットを作成しました（右下参照）。市ホームページでも宣言の全文を公開しています。

さらに、宣言に対する評価も公開します。10月には、目標の進捗状況を課長自ら3段階で評価。3月にも、課題に対する取り組みがどの程度進んだか1年を振り返り「達成」か「未達成」かを判定します。最終的には、小林常良市長に達成状況を報告し、次年度の施策展開に反映させます。

「顔の見える行政に」宣言を受け小林市長は「少子高齢化が進む中、今なすべきことをしっかりと見極めることが重要。部のリーダーとして、一丸となって取り組んでほしい」と部長たちに期待します。

市では今後も、市の情報や方針を公開する「市政の見える化」を積極的に進め、より顔の見える行政運営を目指していきます。

選挙権年齢の引き下げに合わせ、神奈川県立大学に期日前投票所を新設しました。大学に通う学生や近くの高校生のほか、近隣の皆さんにご利用いただきました。大学内に投票所を設置することで、若者に選挙を身近に感じていただく意義深い機会になったと感じています。



宣言の一部を紹介

☆福祉部長

認知症ケア全体の流れが分かるよう、「認知症ケアパス」を作成。

☆子ども未来部長

保育所待機児童ゼロ、学童待機児童ゼロ、居所不明児童ゼロに取り組む。

☆危機管理部長

交通死亡事故ゼロ、放置自転車ゼロ、振り込め詐欺被害ゼロ、中心市街地客引きゼロに取り組む。

☆産業振興部長

「(仮)厚木市ロボット産業推進計画」、「(仮)厚木市商業まちづくり計画」を策定。

☆まちづくり計画部長

空き家対策を推進する「空き家等対策計画」を策定。啓発などにより空き家の発生を予防。

☆河川みどり部長

多目的広場やバーベキュー広場など、相模川の河川敷の活用を進める。

☆市街地整備部長

中町1丁目第1自転車駐車場の自転車・バイクの移転先を検討し、「(仮)自転車仮設移転事業計画」を策定。

☆教育総務部長

快適な学習環境を整備するため、全ての小学校の普通教室に冷暖房設備を設置。

読んで市政を身近に感じよう

部長のチャレンジ宣言



詳しい宣言の内容は、市ホームページでご覧いただけるほか、リーフレットを市役所の市政情報コーナーや公民館でも配布します。

詳しくは

厚木市 部長のチャレンジ

検索

ひとまち元気



市長 小林常良

神奈川県立大学の期日前投票所にて

「未来を担う若者たちに、政治への参加意識を高めてほしい」。選挙権年齢が18歳に引き下げられ、厚木市で初めてとなる選挙（参院選）が7月10日に行われました。少し調べたところ、世界では約9割の国と地域で、18歳に選挙権が認められています。中でもオーストラリアやブラジルなどでは、16歳になれば主体的に政治に関われる機会が提供されるそうです。少子高齢・人口減少社会を迎えたわが国でも、若者たちに社会の担い手である意識を持ってもらうことはとても大切なことです。

選挙権年齢の引き下げに合わせ、神奈川県立大学に期日前投票所を新設しました。大学に通う学生や近くの高校生のほか、近隣の皆さんにご利用いただきました。大学内に投票所を設置することで、若者に選挙を身近に感じていただく意義深い機会になったと感じています。

選挙管理委員会では高校での出前講座など、選挙への理解と関心を高める取り組みに力を入れてきました。選挙への参加を通じ、若者が政治やまちづくりに興味を持ってくれることを心から期待しています。



私たちがチャレンジします



市の「道路里親事業」に登録し、学校前の道路の花壇に季節に合わせた花を植えている厚木中学校ボランティア活動部

# 8月10日は道の日 安全で快適な道路に

道路は、暮らしに欠かせないみんなのものです。誰もがいつまでも安全で快適に利用するためには、利用者一人一人がルールやマナーを守ることが必要です。身近な道路を、大切にしましょう。

## 適正な利用で安全に

道路は、通勤や通学など私たちの生活を支える大切な財産です。いつでも気持ちよく利用するには、使う人のちょっとした心遣いが欠かせません。8月10日は「道の日」、また8月は「道路ふれあい月間」です。この機会に、道路の使い方や在り方について、見直してみませんか。

道路はみんなで使うもの。誰もが安心して快適に通行するためには、それぞれがルールやマナーを守ることが大切です。どんなにきれいな道路が整備されても、店の商品や看板が路上にはみ出しては交通の妨げになり、気持ちよく利用することができません。垣根などの庭木も、道行く人に潤いや安らぎを与えますが、枝や葉が道路に伸びてしまうと道幅を狭めるだけでなく、車や歩行者の視界を遮る恐れがあります。安全のため、定期的な点検をお願いします。道路の上で、市のマークの付いた石の杭や金属のプレートを目にすることは



最も多く見られる金属製の道路境界標

## 損傷発見にご協力を

路面に開いた穴など、道路の損傷は歩行者や車の円滑な通行を妨げます。市では随時、パトロールなどにより危険箇所を発見し、補修に努めています。が、総延長約1200キロメートルに及ぶ市道の保全是簡単ではありません。早期に発見し補修するには、皆さんのご協力が必要です。道路の損傷を発見した時は、お手数でも道路維持課へお知らせください。

## 潤いを感じる道路に

草花が咲き、手入れが行き届いた道路は、道行く人の心に潤いを与えてくれます。市内では現在、自らの手で道路をきれいにしようと41の団体が市の「道路里親制度」に登録。会員の皆さんが、道路の植樹帯の清掃や草花の植え付けなどに取り組んでいます。市では、登録団体に道具や草花の苗などを提供するほか、保険への加入など活動に必要な支援をしています。地域や職場の仲間と一緒に、活動に参加してみませんか。

◎道路管理課 ☎25-2305 (適正利用)・道路維持課 ☎25-2349 (損傷の通報・道路里親制度)

## 市民活動団体を募集

平成29年度実施

市民活動団体と市が協力して実施する「市民協働事業」として、市が提案する事業を企画・運営する市民活動団体を募集します。

### 【対象事業】

#### ■食育フェア

食生活の改善や食育の推進に関するイベントの実施

#### ■落書き消去活動等体験事業

落書き消去活動を体験する事業の実施

#### ■あつぎの魅力創造発信事業

住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業の実施

#### ■子ども食堂事業

ひとり親家庭などを対象に安価な食事と居場所を提供する事業の実施

### 【応募資格】

①市内に活動拠点がある②3人以上の役員、5人以上の市民がいる③会則などがあり、適正に会計処理をしている一の全てを満たす団体

### 【経費】

一部(報償費、印刷製本費、消耗品費など)を市で負担

◎市民協働推進課、社会福祉協議会、公民館にある手引きを確認の上、所定の書類を8月1日～26日に、直接市民協働推進課へ。

詳しくは [厚木市 市民協働提案制度](#) [検索](#) ◎市民協働推進課 ☎25-2141



「エコ・アップ・あつぎ」による落書き消し



食育フェアで開催された料理教室

## みんなで子育てを支え合おう

### ■子育てアドバイザー講習会

子育て支援センターや移動子育てサロンに参加するアドバイザーを募集します。

《日時》9月14・16日(全2回) 10時15分～17時

《会場》あつぎ市民交流プラザ

《対象》市内在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。託児あり(1歳以上10人。8月31日までに電話で要予約。先着順)。別途、保育所実習(半日)が必要。全課程修了者に認定証を交付。

◎9月6日までに子育て支援センター ☎25-2922へ。抽選。☎162173◎1

### ■ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができる方を募集します。

《対象》市内在住で講習会(下記)を受講できる方。

◎ファミリー・サポート・センター、公民館にある申込書に証明写真2枚を添えて、9月6日ま

までに直接、ファミリー・サポート・センター(あつぎ市民交流プラザ8階) ☎25-2933へ。公募 ☎362009

講習会 《日時》9月14・16日(全2回) 10時15分～17時

《会場》あつぎ市民交流プラザ。託児あり(1歳以上10人。8月31日までに要予約。先着順)。



子育ては地域で支えましょう



ことしは県内外から98チーム、約1500名が参加



**日本一のダンスイベントに**

厚木商工会議所青年部 企画委員会委員長  
飛鳥井 智さん (44・愛甲)

「Dance Legend」の責任者をしています。4年前にそれまでのダンスイベントをリニューアルし、芸人の司会者や専門家の審査員を呼び、会場を変更するなど、改良を重ねてきました。苦勞もありましたが、大会後に届く感謝の声を励みに仲間と頑張ってきました。

イベントを立ち上げた時、「10年後に日本一のダンス大会にする」ことを目標に掲げました。常に新しいことにチャレンジするため、ことしは特設ステージを一つ増やし、敗者復活戦を導入しています。これからも参加者の皆さんと一緒に、誰もが楽しめるショーを作っていきたいと思っています。

**ダンスレジェンド Dance Legend (平成25年～)**

屋外開催のオールジャンルのダンスイベントとしては、日本最大級。ステージや路上でチアやヒップホップ、フラ、よさこいなど、さまざまな種類のダンスが繰り広げられる。

前身は、平成13年に始まった「あつぎDANCEパレード」を平成21年にリニューアルした「DANCEパフォーマンスコンテスト」。厚木商工会議所青年部が実施している。

平成21年  
DANCEパフォーマンスコンテストにリニューアル

平成13年  
あつぎDANCEパレード開始

平成25年  
Dance Legend実施  
花火有料観覧席を販売

平成28年  
東日本大震災の影響により花火大会を秋に延期

平成27年  
市制60周年を記念し600メートルの大ナイアガラ披露

平成28年  
第70回あつぎ鮎まつり開催  
700メートルの大ナイアガラ披露



威勢のよい掛け声で激しくみこしを担ぐ

**大花火大会 (明治後期～)**

1万発の花火が夜空を彩る鮎まつり最大のイベントで、フィナーレを飾る大ナイアガラや、短時間に大量の花火を打ち上げるスターマインが最大の目玉。

かつては、仕掛け花火を中心に構成され、昼間に打ち上げていた時もあった。商店会の商品券が入った「落下傘花火」も上げられ、来場者を楽しませた。



大ナイアガラは県下最大級の全長700m



**記憶に残る花火を**

ファイアード神奈川 代表取締役  
和田 順さん (47・棚沢)

花火師として25年、鮎まつりの花火を作っています。客席からの歓声は大きなやりがいにつながっています。うまくいっても失敗しても、即座に反応が返ってくるので、毎年、特別な思いで鮎まつりに臨んでいます。

花火の良さは、誰もが無料で、いろいろな場所で観賞できることだと思います。形は残りますが、家族や恋人、友人と見た記憶は、長く心に残ります。そのためにもお客さんのニーズに合ったものを作るように心掛けています。

ことしの大ナイアガラは、70回大会を記念して鮎まつり史上最長の700mです。ぜひ期待してください。



**イメージレディで貴重な経験**

10代目あつぎイメージレディ  
伊藤 由香利さん (42・みはる野)

厚木をPRする「あつぎイメージレディ」をしていました。鮎まつり前夜祭で選ばれたときはとても驚きました。

1年間、鮎まつりのパレード出演や、観光PR活動、他市町村との親善交流、一日郵便局長など、たくさんの貴重な体験をさせていただきました。人脈も広がり、あの時のさまざまな人との触れ合いが、今でも大きな財産になっています。

**あつぎイメージレディコンテスト (平成2～11年)**

昭和34年ごろにミス若アユとして始まり、45年にミス鮎まつりパレード、平成2年にミスあつぎ、10年にあつぎイメージレディと名称を変えコンテストが開催された。イメージレディは、数十人の応募者の中から写真審査や自己PR、特技披露などを経て、3人選出された。10代目を最後にその歴史に幕を閉じた。



前夜祭翌日のパレードが初仕事

昭和45年  
ミス鮎まつりパレード実施  
鮎まつり大会実施

昭和44年  
前夜祭が始まる

昭和55年  
鮎のつかみどり大会開始  
みこしショーが始まる

平成2年  
第1回ミスあつぎ(あつぎイメージレディ)コンテスト実施



オープニングパレードには総勢10団体が参加

昭和34年  
仕掛け花火コンクール実施

昭和23年  
第1回鮎まつり開催

昭和16年  
第二次世界大戦による花火大会の中断

大正後期、昭和初期  
関東大震災による中断を経て花火大会が復活

明治後期  
川開きに合わせた花火大会を実施

70回  
あゆみ

**鮎まつりのルーツ**

明治後期、川開きやアユ漁解禁に合わせて、相模川周辺の旅館のあるじが花火大会を開催したのが始まりといわれる。アユに感謝の気持ちを伝える灯籠流しや、芸妓による踊り・三味線、屋形船での宴会、演芸大会などが行われ、当時からたくさんの人でにぎわった。



パレードを彩った大迫力のアユの山車

**仮装コンクール (昭和35～37年)**

昭和35年に祭りの新しい名物として売り出そうと、実行委員会が企画。企業や商店街、市職員などが有志でつくる10～20チーム程が参加した。民族衣装や花嫁衣裳などを身にまとった街をパレードし、優秀チームを選出した。



「アリババと40人の盗賊」の仮装で参加

**仮装で盛り上げた鮎まつり**

仮装コンクール参加者  
岩崎 資久さん (85・厚木町)

30歳の時に、地域の商店会の仲間と仮装コンクールに参加しました。「アリババと40人の盗賊」に扮するため、近所の呉服屋で生地を買い衣装を自作しました。若かった自分が主役に抜擢されたことが思い出深いです。

花火大会は太平洋戦争で中断していた時期がありましたが、終戦後、商店会の青壮年部の皆さんが精力的に祭りを盛り上げ、活気に満ちあふれていました。



**小学生鮎つかみどり (昭和55年～)**

厚木のシンボルであるアユにもっと親しんでもらおうと、昭和55年に「鮎のつかみどり大会」として始まった。当初は5000匹、多い時で1万2000匹ものアユを川に放ち、子どもから大人まで一緒になって捕まえていた。現在は小学生を対象に実施され、三川合流点の小鮎川には、毎年アユを追い掛ける子どもたちの歓声が響いている。



真剣な表情でアユが近付くのを待つ



**厚木のアユに触れてほしい**

鮎養殖業者  
鈴木 富美男さん (78・飯山)

自宅で40年ほどアユの養殖をしています。現在は年間約7万匹を養殖し、旅館や料理店のほか、鮎まつりの「小学生鮎つかみどり」用としても出荷しています。なるべく天然に近いアユを育てることが私のこだわりです。

子どもの頃は、小鮎川にたくさんの天然アユが泳いでいて、よく釣り上げて食べていました。一番おいしい食べ方は、やはり塩焼きだと思います。鮎まつりの屋台でも売られているので、ぜひ味わってほしいです。

つかみ取りには、魚の感触を楽しんでもらえるように、特に大きいアユを選んでいきます。たくさん厚木の子もたちが参加し、喜んでくれるとうれしいです。



じっくり焼き上げる塩焼き



祝70回

**思いつながらる 鮎まつり**

昔から市民に親しまれてきた鮎まつりは、ことしで開催70回を迎えます。特集では鮎まつりに携わる関係者や参加者の思いと、これまでの歩みを振り返ります。



**ポスター今昔物語**

画家の作品や漫画のキャラクター、「鮎まつり思い出絵画コンクール」の作品をモチーフにするなど、多彩なポスターが作られてきました。

第18回

第36回

第40回

第42回

第44回

第50回

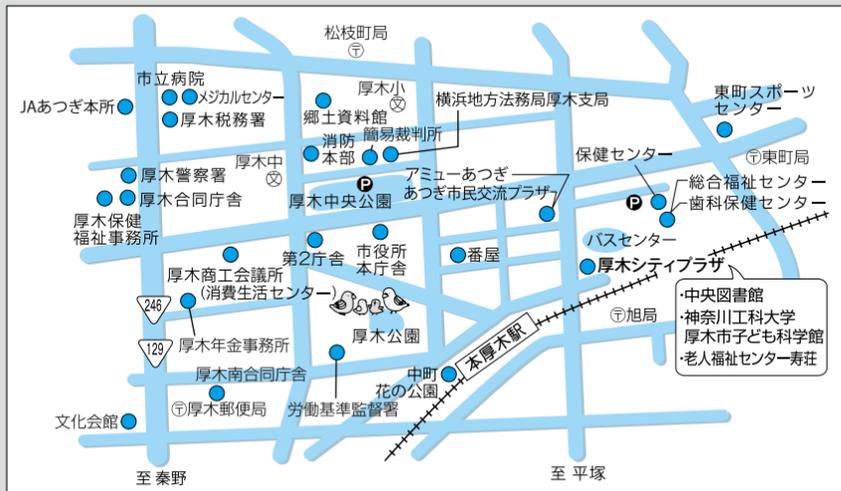
第52回

第56回

第60回

第70回

# タウンガイド



8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	4	5	6	7	8	9	10
7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17
14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	
28	29	30	31										

**マイタウンクラブ**  
 〇印の番号で、ウェブ上から詳しい情報がご覧いただけます。「〇〇」と記されたものは、申し込みもできます。  
[www.mytownclub.com](http://www.mytownclub.com)

**Gポイント**  
 G印は、あゆこちゃんGENKIポイント「Gポイント」の対象事業です。数字分のポイントが付与されます。

はじめ、インターネットで気をつけたい情報セキュリティや著作権の基本知識を学ぶ。定員30人。無料。☎電話またはハガキ、ファクスに〒住所、氏名、電話番号を書き、8月15日(消印有効)までに〒243-8511情報政策課 ☎225-2459・FAX 225-3732へ。抽選。〇 ☎162194 ①

**厚木児童思春期精神保健講座「第22回本講座」**  
 8月20日、14時30分～16時45分。レンブランドホテル厚木(中町2-13-1)。「『睡眠不足症候群』をご存知ですか？」がテーマの講演。定員50人。無料。☎8月12日までに青少年教育相談センター ☎225-2520へ。抽選。〇 ☎162186 ①

**アクア転倒骨折予防教室**  
 9月1日～11月17日の木曜(全12回)、10時～12時。総合福祉センター。水中で行うストレッチなど。市内在住で65歳以上の方20人(要介護認定者は応相談)。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月12日(必着)までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・FAX 221-1640へ。抽選。〇 ☎162141 ①

**忙しい自分に時間のごほうび～タイムマネジメント講座～**  
 9月10日、10時～12時。あつぎ市民交流プラザ。仕事や趣味など自分らしい一日を送るための時間管理講座。市内在住在勤在学の方30人(託児あり、1歳～小学3年生、要予約)。☎直接、電話またはハガキに〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書き、8月21日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課 ☎225-2215へ。抽選。〇 ☎162170 ①

**遺言セミナー**  
 8月20日、10時～12時。あつぎ市民交流プラザ。市内在住在勤の方20人。☎ハガキまたはファクスに講座名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話・ファクス番号を書き、8月8日(必着)までに〒243-0018中町3-16-1勤労者福祉サービスセンター

☎206-4151・FAX 206-4611へ。抽選。〇 ☎600312

**和菓子教室**  
 9月10日、13時30分～16時。あつぎ市民交流プラザ。「まんじゅう」「きんぎょく」「うぐいす餅」を作る。市内在住在勤在学の中学生以上の方10人。1600円(材料費)。☎電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、8月12日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・FAX 206-4611へ。抽選。

**ボランティア入門講座**  
 8月27日、9月3日(全2回)。13時30分～15時30分。あつぎ市民交流プラザ。福祉施設でのボランティアや心構えを学ぶ。市内在住在学の方30人。無料。☎8月19日までに社会福祉協議会 ☎225-2949へ。抽選。①

**アスレチックアドベンチャー教室**  
 8月15日、①10時～②13時～。8月16日、③10時～④13時～。①緑ヶ丘小学校(緑ヶ丘4-1-1)②清水小学校(妻田西3-18-1)③厚木第二小学校(旭町5-38-1)④南毛利小学校(長谷1085)。SASUKE出場者に体を動かす楽しさを学ぶ。③は市水泳協会の泳ぎ方教室も開催。上履きをお持ちください。市内在住の小学生各回30人。300円(保険料)。☎電話で8月11日までに市民団体「ASHIL」 ☎080-3581-5483へ。

**体育協会のスポーツ教室**  
**■初級・中級ジュニアテニス教室**  
 9月2・7・9・14・16・21日(全6回)。17時30分～18時50分。南毛利スポーツセンター(温水西1-27-1)。市内在住の小中学生30人。2000円。〇 ☎162163  
**■第2回初級・中級テニス教室**  
 9月2・7・9・14・16・21日(全6回)、19時～20時45分。南毛利スポーツセンター。市内在住在勤在学で高校生以上の方50人。2500円。〇 ☎162164 ①  
**■初級・中級卓球教室**  
 9月6・9・16・20・23日(全5回)。18時30分～20時30分。東町スポーツセンター。市内在住在勤在学で小学生以上の方40人。2000円。〇 ☎162166 ①  
 いずれも内容は基礎技術の講

**あつぎ青春劇場**  
 ①8月20日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会(ゲスト・浪ちひろ)②8月27日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会(出演・柳亭こみち)。いずれも会場はアミューあつぎ9階。定員100人。500円。☎当日直接会場へ。先着順。☎商業にぎわい課 ☎225-2834。①

**斎場施設見学会**  
 8月22日、①10時30分～②13時30分～。市斎場(下古沢548)。施設の見学と葬儀の説明。各回30人。無料。☎8月1日～21日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。①

**なしぶどうもぎとり優待バス**  
 8月29日、①10時～②13時30分～(雨天中止)。市役所西側駐車場集合。市内の果樹園を巡るもぎ取りツアー。市内在住在勤在学の方各回20人。もぎ取り代は実費。☎往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、希望時間、人数を書き、8月

19日(必着)までに〒243-0004水引2-9-2 J A あつぎ本所指導販売部 ☎221-2273へ。抽選。〇 190219

**第22回相模川灯ろう流しの夕べ**  
 8月20日、19時～20時(受け付けは18時30分～19時30分)。相模川三川合流点。先祖や亡き家族・友人への思いを込めた灯籠を流す。1000円(小学生以下300円)。☎当日直接会場へ。☎明るい社会づくり運動市協議会 ☎247-1660。

**応急手当普通救命講習会**  
 8月31日、13時30分～16時30分。消防本部。応急手当での必要性、心肺蘇生、大出血時の止血法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上の方30人。無料。☎8月10日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。〇 ☎152853 ①

**はじめての情報セキュリティ・著作権講座**  
 8月28日、10時～11時30分。あつぎ市民交流プラザ。地域SNSを



頭と体の運動は認知症予防にも効果的

**◆からだいきいき運動教室**  
**Aコース**=9月7日～12月7日の水曜(全12回、10月12日、11月23日は除く)、10時～12時。東町スポーツセンター。〇 ☎162136 **Bコース**=9月7日～11月30日の水曜(全12回、11月23日は除く)、10時～12時。猿ヶ島スポーツセンター(猿ヶ島195-129)。〇 ☎162139 **Cコース**=9月7日～11月30日の水曜(全12回、11月23日は除く)、10時～12時。荻野運動公園(中荻野1500)。〇 ☎162138 **Dコース**=9月7日～12月7日の水曜(全12回、10月12日、11月23日は除く)、14時～16時。東町スポーツセンター。〇 ☎162137 定員は各30人。  
 いずれも対象は市内在住の65歳以上の方(要介護認定者は応相談)。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室・コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月12日(必着)までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・FAX 221-1640へ。1人1講座まで。抽選。①

ずっと元気に健康生活 **いきいき教室** 参加者募集

ストレッチや体操などを通じて、元気な頭と体を維持しましょう。

◆**脳とからだのいきいき運動教室**  
 9月1日～12月1日の木曜(全12回、9月22日、11月3日を除く)、13時30分～15時30分。厚木YMCA(中町4-16-19)。定員25人。〇 ☎162140

◆**物忘れ予防・脳いきいき教室～室内編～**  
 9月7日～11月30日の水曜(全12回、11月23日を除く)、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。定員25人。〇 ☎162142

第3回 あつぎミュージックフェスティバル **二次審査の観覧者を募集**

新人シンガーオーディションの公開二次審査を開催します。優勝者は11月27日開催のコンサートで有名アーティストと共演。トイズファクトリーから配信デビューができます。ぜひご来場ください。

**日時** 8月17日  
 12時30分～17時(予定)  
 演奏スケジュールは8月上旬に市ホームページに掲載

**会場** あつぎ市民交流プラザ

**定員** 150人 **費用** 無料

☎当日直接会場へ。先着順。①  
 ☎文化生涯学習課 ☎225-2508



習。☎ハガキまたはファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、性別を書き、8月15日（必着）までに〒243-0039 温水西1-27-1体育協会 ☎247-7212・☎248-7151へ。抽選。

### 「あつぎ国際大道芸」あつぎグルメフェアの出店者を募集

《日時》11月12・13日、10時30分～18時《場所》厚木公園《対象》市内に店舗を持つ18店《内容》飲食物の販売《出店料》4万円。☎商業にぎわい課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、8月24日までに直接またはファクスで商業にぎわい課☎225-2840・☎223-7875へ。抽選。

### 市民ふれあいマーケットの出店者を募集

《日時》9月18日（雨天時は25日）、9時～13時30分《場所》厚木中央公園《内容》家庭で不用になった物の販売《出店料》500円。☎往復ハガキの往信面に〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、自動車の使用の有無（車種とナンバー）、返信面に返信先の〒住所、氏名を書き、8月15日（消印有効）までに〒243-8511 環境政策課☎225-2749へ。抽選。

### 里地里山保全等促進委員会委員を募集

里地里山の保全と再生、活用について審議する委員を募集します。《任期》9月～（2年間）《対象》①市内在住で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議（年3回程度）に出席できる③他の審議会の委員でない④市の議員・職員でないの全てを満たす方2人《報酬》1日7800円（交通費含む）。☎公民館などにある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、直接または郵送、Eメールで9月1日（消印有効）までに〒243-8511環境政策課☎225-2746・☎3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### 国民健康保険被保険者証を送付

新しい国民健康保険被保険者証

を、9月上旬から簡易書留で送付します。窓口での受け取りを希望する方は、8月25日までに国保年金課にお知らせください。職場の健康保険に加入している方などは、脱退の届け出をしてください。☎国保年金課☎225-2122。

### 市戦没者追悼式

8月11日、10時30分～。文化会館。先の大戦で尊い命をささげられた英霊を追悼します。☎福祉総務課☎225-2200。☎1

### 本厚木駅連絡所（えきちよこ）を臨時休業

8月18日は、駅ビル休館日のため、連絡所業務と観光案内所業務を休業します。☎市民課☎225-2110。

### 宅地建物取引業協会の相談会

8月27日、10時～16時。宅地建物取引業協会県央支部（水引1-8-22）。専門家による法律や税金、不動産取引などの相談。無料。☎宅地建物取引業協会県央支部☎224-6561へ。

### 学校給食費コールセンター開設

学校給食費の納付をお忘れの方にオペレーターが電話で呼び掛けます。コールセンター（☎225-2404）では、ATM操作や指定口座への振込指示、自宅訪問はしません。詐欺にご注意ください。☎学校給食センター☎225-2683。

### 児童扶養手当現況届などの提出を

現況届は前年の所得や児童の養育状況などを確認するものです。受給している方は必ず届け出てください。対象者には事前に通知します。《提出期間》児童扶養手当8月1日～31日。特別児童扶養手当8月12日～9月12日。いずれも証書と印鑑を持ち、こども家庭課☎225-2241へ。

### 児童扶養手当の加算額が変わります

8月1日から第2・3子以降の加算額が変更されます。《第2子》全部支給1万円、一部支給5000円～9990円《第3子以降》全部支給6000円、一部支給3000円

**あつぎ 元気Wave** **8月の広報番組ガイド**

ケーブルテレビ あゆチャンネル(11ch) 放送時間(15分) 8月1日～15日 ◆夏休みを満喫! 自然観察に出掛けよう あつぎこどもの森公園で昆虫や夏の草花を観察します

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

～5990円。いずれも一部支給額は所得に応じて決定。平成29年4月から加算額が全国消費者物価指数に応じて変動します。☎こども家庭課☎225-2241。

### 市有地を入札により売却します

《物件》①宮の里3丁目1155番146(214.24平方m) ②林4丁目597番2ほか1筆(141.08平方m)《入札申込期間》8月25日～9月8日。☎財産管理課☎225-2089。

### 障がい者雇用奨励交付金の申請

障がい者を雇用する事業主に奨励金を交付します。《対象》常用労働者数が300人以下①8月1日現在市内で1年以上継続して事業を経営②市内の事業所に1年以上継続して障がい者を常用雇用③障害者雇用率を達成④市税を完納一の全てを満たす事業主《金額》市内在住（8月1日まで3カ月以上継続して市内に住所を有する方）の障がい者1人につき6万円、市外は5万円《期間》雇用日から1年を経過した最初の8月1日から10年。☎市ホームページにある申請書に身体障害者・療育・精神障害者保健福祉手帳の写し、雇用保険被保険者証の写し、障害者雇用内訳書などを添え、8月31日（必着）までに直接または郵送で〒243-8511産業振興課☎225-2585へ。

### みんなの声で 作る まち

《意見交換会》再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準額の特例に関する市税条例の一部改正

8月8日、19時～20時。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎資産税課☎225-2031。☎1

### 子ども科学館プラネタリウムの年間パスポート導入に関する条例の一部改正

①8月5日、19時～20時②8月10日、16時～17時。厚木シティプラザ。☎当日直接会場へ。☎青少年課☎225-2581。☎1

### 動物火葬アンケート

《期間》8月1日～25日（必着）《アンケート配布場所》市民課、市政情報コーナー、あつぎ市民交流プラザ、各公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、市斎場、厚木愛甲獣医師会会員の動物病院、市ホームページ《提出方法》①市公共施設にある「わたしの提案箱」に投函または窓口提出②厚木愛甲獣医師会会員の動物病院窓口にある回収箱に投函③郵送、ファクス、Eメールで〒243-0214下古沢548市斎場☎281-8595・☎250-2212・☎2650@city.atsugi.kanagawa.jp（件名に「動物火葬アンケート」と明記）へ。《パブリックコメント》

### 避難行動要支援者避難支援計画の策定

《閲覧期間》8月1日～31日《閲覧場所》危機管理課、市政情報コーナー、公民館、本厚木駅・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページなど《応募資格》市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511危機管理課☎225-2190・☎223-0173・☎0900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

**あつぎ健康相談ダイヤル24**  
さわやか1番 よいこころ  
☎0120-31-4156

## 8月1日～7日 食中毒予防週間



高温多湿が続く夏は、食中毒に注意しましょう。

- 3つの衛生習慣**
- 1 菌やウイルスを「つけない」**  
手や食品、調理器具はきれいに洗う
  - 2 菌を「増やさない」**  
生鮮食品は、すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れる
  - 3 菌やウイルスを「やっつける」**  
食品は中まで火を通す。調理器具は洗浄後、熱湯や消毒剤で消毒する

### 「食中毒かな?」と思ったら

- 1 症状をチェック**  
吐き気や下痢などがないか確認
  - 2 緊急の場合は応急処置を**  
水分補給をして、嘔吐物による窒息を防ぐ  
心配な場合は、厚木保健福祉事務所（☎224-1111）に相談しましょう。
  - 3 すぐに医療機関で受診を**  
食べた物や便の様子を伝える
  - 4 二次感染を防止**  
嘔吐物や便などに触れた場合は洗浄・消毒をする
- ☎健康医療課☎225-2174

インターネットモニターからの意見を紹介

## ホットメール

7月1日号「広報あつぎ」を読んで ◆放課後児童クラブは、もっと定員が増えないと待機の問題は解消されないので検討してほしい／40代女性・みはる野 ◆ホストタウンについて初めて知った。交流がうまく進んでほしい／60代男性・森の里 ◆本厚木駅南口再開発による商業施設や交通網の発達など将来に向けた展開が気になった／50代男性・栄町 ◆花火大会の記事は夏を感じられて気分が盛り上がった／40代女性・長谷 ◆熱中症の注意点を読んで気を付けたいと思った／70代女性・鳶尾

厚木市 インターネットモニター結果 検索

## 編集後記

開催70回を機会に、市民の皆さんに鮎まつりをもっと知ってもらおうと、今回の特集を考えました。いろいろな方に取材をする中で特に印象深かったのは、終戦後、鮎まつりを開催したことがきっかけとなり、傷付いた市民の方々が活気を取り戻したという話です。この話を聞いて、私たちも祭りに来てくれた人たちに「元気をもらえた」「また来年も来たい」と思ってもらえるイベントを作り上げなければと改めて考えさせられました。いつまでも皆さんに鮎まつりを心待ちにしてもらえるよう努めていきたいです。（佐藤）



第70回

あつぎ  
鮎まつり

70回 祝う花火と 光る鮎



- ◆オープニングパレード 13時15分～ 中央通りなど  
ダンスレジェンド
- ◆Dance Legend  
パフォーマンスステージ 11時～ 厚木公園など  
チャレンジステージ 13時～ 厚木中央公園
- ◆厚木中央公園イベント  
動物戦隊ジュウオウジャーショー ①10時45分～②16時～  
Mujifaライブ 17時25分～  
久宝留理子ライブ 18時～
- ◆市民出店村 10時～ 厚木中央公園 ※7日まで
- ◆大花火大会 19時～ 三川合流点  
あゆチャンネル(11ch)で生中継 18時～



- ◆早朝清掃 6時30分～ 三川合流点など
- ◆小学生鮎つかみどり 10時45分～ 三川合流点  
ダンスレジェンド
- ◆Dance Legend  
コンテストステージ 12時30分～ 厚木中央公園
- ◆厚木中央公園イベント  
アイドルライブ 10時30分～ 段ボール迷路 11時～
- ◆厚木公園イベント  
こども神輿 9時～ 自転車シミュレーター体験会 11時～
- ◆みこしショー 12時15分～ 中央通りなど
- ◆東京農大全学応援団演技 ①13時15分～②14時15分～
- ◆民踊おどり 15時40分～ 中央通りなど

問あつぎ鮎まつり実行委員会 ☎295-5496

詳しくは [あつぎ鮎まつり](#) [検索](#)

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1804へ。